



平成25年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年12月6日
上場取引所 東 大 名

上場会社名 積水ハウス株式会社

コード番号 1928 URL <http://www.sekisuihouse.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 俊則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 平林 文明 TEL 06-6440-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第3四半期の連結業績（平成24年2月1日～平成24年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年1月期第3四半期 | 1,141,180 | 2.6 | 51,483 | 3.6 | 53,290 | 6.9 | 26,798 | 7.9 |
| 24年1月期第3四半期 | 1,112,091 | 4.9 | 49,704 | 69.9 | 49,856 | 71.0 | 24,847 | 83.4 |

(注) 包括利益 25年1月期第3四半期 29,264百万円 (128.8%) 24年1月期第3四半期 12,791百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年1月期第3四半期 | 39.90 | 37.10 |
| 24年1月期第3四半期 | 36.77 | 35.61 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年1月期第3四半期 | 1,470,664 | 763,656 | 51.5 |
| 24年1月期 | 1,445,828 | 750,374 | 51.4 |

(参考) 自己資本 25年1月期第3四半期 756,833百万円 24年1月期 743,830百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年1月期 | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 |
| 25年1月期 | — | 12.00 | — | | |
| 25年1月期（予想） | | | | 13.00 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想（平成24年2月1日～平成25年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|----|-----------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,620,000 | 5.8 | 85,000 | 19.9 | 86,000 | 22.7 | 44,000 | 51.9 | 65.51 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社（社名） 、除外 ー 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年1月期3Q | 676,885,078株 | 24年1月期 | 676,885,078株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年1月期3Q | 5,220,746株 | 24年1月期 | 5,211,881株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 25年1月期3Q | 671,670,828株 | 24年1月期3Q | 675,686,670株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績見通しは、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関しては〔添付資料〕P.4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は平成24年12月6日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催当日にホームページに掲載する予定です。

〔添付資料の目次〕

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 4 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| (4) 追加情報 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 9 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (4) セグメント情報 | 10 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |
| 4. 補足情報 | 12 |
| 受注の状況 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災後の復興需要等により景気が下支えされているものの、世界経済の減速による輸出や設備投資等の鈍化に加え、欧州や中国等の対外経済環境の不確実性もあり、先行きの不透明感が増すところとなりました。

住宅市場では、地価の下落率が引き続き縮小したうえ、住宅の安全・安心、エネルギーの問題に対する関心の高まり等を受けて、新設住宅着工戸数は緩やかな改善傾向が見られました。また太陽光発電システム設置に対する補助金制度が継続される等、政府の住宅支援策も後押しとなりました。一方では消費税増税法案の可決後、今後の住宅政策への関心が続くところとなりました。

当社はこのような状況の中、2010年度から3ヶ年に亘る中期経営計画の最終年度を迎え、基本方針の「グリーンファースト戦略」を軸に事業を推進致しました。昨年発売した「グリーンファーストハイブリッド」に続き、環境配慮型住宅商品の蓄電池ラインナップを拡充し、リチウム蓄電池や、電気自動車と連携したシステムを追加致しました。販売促進イベント「住まいの参観日」や「シャーマンフェスタ」などイベントの効果も現れ、総じて堅調な結果となりました。

また、中期経営計画の進捗及び事業環境を踏まえ2012年度から3ヶ年に亘る新中期経営計画を策定し、11月15日に発表致しました。

一方、当社は2008年に「エコ・ファースト企業」として環境省から認定を受け、低炭素社会の実現に向けて積極的な取り組みを推進してまいりましたが、今年3月にはこれまでの「エコ・ファーストの約束」を更新し、太陽電池、燃料電池、蓄電池をHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）により3電池連動制御する電力供給システムを搭載した「グリーンファーストハイブリッド」の普及をはじめ、新たな取り組みについて環境大臣に約束致しました。

また、2002年に当社独自のユニバーサルデザイン基準を作成し、住まいと暮らしの体験施設「納得工房」を活用した体験型研修や社内資格制度の確立により継続してまいりました、社内外でのユニバーサルデザインの啓発活動が、今年10月「IAUDアワード2012」（国際ユニバーサルデザイン協議会が行っている表彰制度）において大賞（経済産業大臣賞）を受賞致しました。

経営成績につきましては、グリーンファースト戦略による販売が堅調に推移し、被災地の復興需要に対する成果も出てきていること等から、戸建住宅事業、賃貸住宅事業の受注が堅調に推移致しました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は1兆1,411億8千万円（前年同期比2.6%増）となりました。利益につきましては、営業利益は514億8千3百万円（前年同期比3.6%増）、経常利益は532億9千万円（前年同期比6.9%増）、四半期純利益は267億9千8百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、「その他」に含めていました「国際事業」を、報告セグメントに変更しており、下記の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

(戸建住宅事業)

戸建住宅事業では、オリジナル外壁デザインウォールを搭載した鉄骨戸建住宅「イズ・ロイエ」にラグジュアリーモダンモデルを6月から投入、10月には当社オリジナルの中高層用構法「βシステム」を大幅に刷新した新たな3階建て商品の販売を開始致しました。

木造住宅シャーウッドではオリジナル陶版外壁「ベルバーン」の魅力を訴求する等、主力商品の拡販に努めました。2月には、「ベルバーン」の新製造ラインを静岡工場に建設し、生産能力を従来に比べ2.5倍まで高め、好調な需要に対応できる体制を構築致しました。この「ベルバーン」はシャーウッドの住宅の半数以上で採用され、2012年度グッドデザイン賞も受賞致しました。

また「グリーンファーストハイブリッド」等を提案し、引き続き、環境配慮型住宅の受注拡大に努めた結果、受注は堅調に推移致しました。

当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は3,298億4千3百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は293億5千7百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

(賃貸住宅事業)

賃貸住宅事業では、サービス付き高齢者向け住宅「CELEBLIO（セレブリオ）」を9月に発売致しました。賃貸住宅に生活支援サービス機能を組み合わせ、高齢者が安心して暮らせる住環境を整えたサービス付き高齢者向け住宅に特化した商品の発売は業界初となります。今後高齢者向けの様々なステージに合わせた住宅の需要拡大が見込まれ、ニーズを先取りした積極的な展開を図ってまいります。

一方では販売促進イベント「シャーマンフェスタ」においてシャーマンガーデンズ等の当社賃貸住宅の魅力を訴求し、また、将来実施が見込まれる相続税の課税強化に対応するセミナーを開催する等、積極的な受注活動を行いました。

さらに、上階からの床衝撃音を低減する当社オリジナル高遮音床システム「シャイド55」が、音響に関する工業技術の進歩発展に特に貢献したとして、一般社団法人日本音響学会の第20回技術開発賞を受賞致しました。

このような事業推進の結果、販売促進イベントの効果が成果として現れ受注は好調に推移致しました。

当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は2,062億1千3百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は157億4千2百万円（前年同期比20.0%減）となりました。

（分譲住宅事業）

分譲住宅事業では、スマートハウスの先進企業として、電力不足の解消や災害時には非常用電源などで安全・安心な暮らしが継続できるという新たな付加価値のある分譲住宅の販売を積極化させました。宮城県仙台市近郊の明石台における日本初のスマートタウン「スマートコモンシティ明石台」に続き、67世帯で85世帯分の電力を創ることのできる「スマートコモンステージけやき平」（茨城県古河市）、「CO2ゼロ」の暮らしを実現する「照葉スマートタウン」（福岡市東区）のまちびらきや、東海三県でも新たな計画を進行させる等、全国でスマートタウンの展開を進めてまいりました。

また、在庫調整後の新規用地取得に注力する一方、受注についても改善の傾向となりました。

当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は860億8千万円（前年同期比6.1%減）、営業利益は11億8千1百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

（マンション事業）

マンション事業では、東京都狛江市で開発中の「グランドメゾン狛江」において、東京ガス株式会社が販売する「太陽熱利用ガス温水システム『SOLAMO（ソラモ）』」と「ガスコージェネレーション」の2つのシステムが作り出すエネルギーを活用する「ダブル創エネ」を分譲集合住宅で初めて採用し販売致しました。また、福岡市中央区では日本で初めてとなる全戸に家庭用燃料電池（エネファーム）を設置した「グランドメゾン大濠Park」を着工する等、分譲マンションにおいても「グリーンファースト戦略」を推進しブランド価値を高める販売施策を実施致しました。

このような事業推進の結果、都市部を中心とした新規販売開始物件の受注が順調に進捗致しました。

当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は280億7千5百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益は1億8百万円となりました。

（都市再開発事業）

都市再開発事業では、賃貸住宅「プライムメゾン」等の当社グループ保有賃貸物件については入居率が堅調に推移致しました。またJ-REITの積水ハウス・SI投資法人にこの「プライムメゾン」等10物件を売却し、新たなポートフォリオの構築に寄与致しました。東京都北区においては、子育て世帯と高齢者世帯が同じ敷地内で居住する多世代交流型賃貸マンション「マストライフ古河庭園」を竣工し、新たな賃貸住宅の提案を行いました。オフィス・マンションの大規模複合開発「御殿山プロジェクト」は、財団法人都市緑化機構が主催する「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」において最上位の国土交通大臣賞を受賞致しました。

当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は391億5千9百万円（前年同期比22.9%増）、営業利益は86億9千3百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

（リフォーム事業）

リフォーム事業では、「グリーンファーストリフォーム」を掲げ、断熱改修リフォーム等の省エネ・性能向上に資するリフォームの提案を積極的に行い、市場ニーズに訴求する販売展開を行いました。さらに、「リフォームフェア」や「暮らしのセミナー」等販売促進イベントを各地で開催し、販売強化に努めました。

また、太陽光発電システムの販売を特に積極的に推進致しました結果、9ヶ月累計で5,400件を超え昨年1年間の販売件数の2倍強となるなど、順調な状況で推移しております。

このような事業推進の結果、受注が好調に推移致しました。

当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は791億1千7百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は77億9千1百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

（不動産フィー事業）

不動産フィー事業では、積和不動産各社によるシャーマンの一括借り上げ及び管理受託戸数が堅調に増加致しました。賃貸住宅市場では都市部を中心に需要が高まっており、当社グループが連携をして入居促進に努めまし

た。また、市場ニーズに合わせたリフォーム提案等を行い、首都圏を中心に高い入居率を維持することができました。

当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は2,946億2千4百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は131億1千万円（前年同期比23.2%増）となりました。

（国際事業）

国際事業では、オーストラリアの「ウェントワースポイント」やシンガポールの「ブンゴルサイト」等のマンションの販売が順調に進捗しています。また、オーストラリアの「カムデンヒルズ」や、アメリカではテキサス州ヒューストンエリアを中心とした分譲地の販売が好調に推移致しました。中国瀋陽市においては鉄骨住宅の生産工場が完成し、工業化住宅の生産を開始致しました。

当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は375億1千4百万円（前年同期比99.0%増）、営業利益は24億5千2百万円となりました。

（その他）

エクステリア事業については、各地の土地に自生する在来種を植栽する「5本の樹」計画の提案や街並みに合わせたエクステリアの戸建住宅・賃貸住宅との総合提案を積極的に行いました。

当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は405億5千万円（前年同期比4.2%増）、営業損失は10億4千2百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、国際事業における分譲土地の増加等により248億3千5百万円増加し、1兆4,706億6千4百万円となりました。負債は、未成工事受入金の増加等により115億5千2百万円増加し、7,070億7百万円となりました。純資産は、四半期純利益の計上等により132億8千2百万円増加し、7,636億5千6百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

グリーンファースト戦略を基軸に積極的な展開を図り、戸建・賃貸住宅事業をはじめ、各セグメントにおける事業が順調に進捗しており、現時点における平成25年1月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月15日に発表致しました計画から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更

在外子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算していましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が今後さらに増加することが見込まれるため、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しています。

この変更による前第3四半期連結累計期間への損益への影響額及び当連結会計年度の期首までの累積的影響額は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年1月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 169,524 | 118,594 |
| 受取手形・完成工事未収入金 | 36,530 | 48,424 |
| 有価証券 | 5,000 | 2,098 |
| 未成工事支出金 | 8,344 | 15,442 |
| 分譲建物 | 135,541 | 147,648 |
| 分譲土地 | 340,631 | 393,619 |
| 未成分譲土地 | 125,004 | 81,756 |
| その他のたな卸資産 | 6,810 | 8,660 |
| 繰延税金資産 | 50,248 | 50,156 |
| その他 | 40,428 | 45,669 |
| 貸倒引当金 | △1,989 | △2,007 |
| 流動資産合計 | 916,074 | 910,062 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 131,326 | 139,856 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 10,394 | 13,095 |
| 土地 | 191,355 | 206,361 |
| 建設仮勘定 | 16,667 | 17,042 |
| その他（純額） | 4,391 | 3,900 |
| 有形固定資産合計 | 354,135 | 380,255 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 65,855 | 63,913 |
| 長期貸付金 | 35,795 | 39,241 |
| 繰延税金資産 | 21,699 | 25,521 |
| その他 | 38,948 | 37,683 |
| 貸倒引当金 | △1,012 | △1,055 |
| 投資その他の資産合計 | 161,287 | 165,304 |
| 固定資産合計 | 529,754 | 560,601 |
| 資産合計 | 1,445,828 | 1,470,664 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年1月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金 | 88,774 | 86,239 |
| 電子記録債務 | 49,763 | 50,221 |
| 短期借入金 | 18,970 | 15,357 |
| 1年内償還予定の社債 | 59,995 | 59,999 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,108 | 916 |
| 未払法人税等 | 27,043 | 14,311 |
| 未成工事受入金 | 76,272 | 99,261 |
| 賞与引当金 | 17,151 | 23,975 |
| 役員賞与引当金 | 734 | — |
| 完成工事補償引当金 | 3,091 | 3,036 |
| その他 | 64,346 | 48,745 |
| 流動負債合計 | 408,251 | 402,065 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 70,000 | 70,000 |
| 新株予約権付社債 | 50,000 | 50,000 |
| 長期借入金 | 62,660 | 71,544 |
| 長期預り敷金保証金 | 52,293 | 53,350 |
| 退職給付引当金 | 42,525 | 50,596 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,035 | 1,087 |
| その他 | 8,687 | 8,362 |
| 固定負債合計 | 287,202 | 304,942 |
| 負債合計 | 695,454 | 707,007 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 186,554 | 186,554 |
| 資本剰余金 | 237,522 | 237,522 |
| 利益剰余金 | 326,153 | 338,170 |
| 自己株式 | △4,201 | △4,207 |
| 株主資本合計 | 746,028 | 758,040 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,575 | 2,050 |
| 繰延ヘッジ損益 | △7 | △44 |
| 為替換算調整勘定 | △3,766 | △3,212 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,198 | △1,206 |
| 新株予約権 | 365 | 412 |
| 少数株主持分 | 6,178 | 6,411 |
| 純資産合計 | 750,374 | 763,656 |
| 負債純資産合計 | 1,445,828 | 1,470,664 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 1,112,091 | 1,141,180 |
| 売上原価 | 911,119 | 932,535 |
| 売上総利益 | 200,972 | 208,645 |
| 販売費及び一般管理費 | 151,267 | 157,161 |
| 営業利益 | 49,704 | 51,483 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,062 | 972 |
| 受取配当金 | 630 | 635 |
| 為替差益 | — | 1,378 |
| 持分法による投資利益 | 296 | 77 |
| その他 | 3,018 | 2,214 |
| 営業外収益合計 | 5,008 | 5,278 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,510 | 1,244 |
| その他 | 3,345 | 2,227 |
| 営業外費用合計 | 4,856 | 3,471 |
| 経常利益 | 49,856 | 53,290 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 3,328 | 2,286 |
| 固定資産除売却損 | 837 | 969 |
| 減損損失 | 167 | 350 |
| 災害による損失 | 1,293 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 687 | — |
| 特別損失合計 | 6,314 | 3,606 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 43,541 | 49,684 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 27,435 | 25,285 |
| 法人税等調整額 | △8,764 | △3,880 |
| 法人税等合計 | 18,670 | 21,405 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 24,870 | 28,279 |
| 少数株主利益 | 23 | 1,480 |
| 四半期純利益 | 24,847 | 26,798 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 24,870 | 28,279 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,187 | 403 |
| 繰延ヘッジ損益 | △19 | △37 |
| 為替換算調整勘定 | △10,858 | 622 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △13 | △3 |
| その他の包括利益合計 | △12,079 | 985 |
| 四半期包括利益 | 12,791 | 29,264 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 12,815 | 27,790 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △24 | 1,474 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 報 告 セ グ メ ン ト | | | | | | |
|---------------------------|---------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| | 戸建住宅 事業 | 賃貸住宅 事業 | 分譲住宅 事業 | マンション 事業 | 都市再開発 事業 | リフォーム 事業 | 不動産 フィー事業 |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への 売上高 | 344,080 | 208,206 | 91,700 | 23,511 | 31,872 | 72,570 | 282,373 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 1,862 | — | — | 79 | 102 | 1,686 |
| 計 | 344,080 | 210,068 | 91,700 | 23,511 | 31,951 | 72,673 | 284,059 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | 35,264 | 19,671 | 1,489 | △6,385 | 9,475 | 6,624 | 10,637 |

| | 報 告 セ グ メ ン ト | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|---------------------------|---------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 国際事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客への 売上高 | 18,850 | 1,073,165 | 38,926 | 1,112,091 | — | 1,112,091 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 3,730 | 3,781 | 7,512 | (7,512) | — |
| 計 | 18,850 | 1,076,895 | 42,707 | 1,119,603 | (7,512) | 1,112,091 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | △1,528 | 75,248 | △1,422 | 73,826 | (24,121) | 49,704 |

(注) 1. その他は、主にエクステリア事業等です。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額24,121百万円には、セグメント間取引消去2,307百万円、各セグメントに配賦していない全社費用21,814百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費です。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年2月1日至平成24年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報 告 セ グ メ ン ト | | | | | | |
|---------------------------|---------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| | 戸建住宅 事業 | 賃貸住宅 事業 | 分譲住宅 事業 | マンション 事業 | 都市再開発 事業 | リフォーム 事業 | 不動産 フィー事業 |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への 売上高 | 329,843 | 206,213 | 86,080 | 28,075 | 39,159 | 79,117 | 294,624 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 1,816 | — | — | 76 | 335 | 2,083 |
| 計 | 329,843 | 208,030 | 86,080 | 28,075 | 39,235 | 79,453 | 296,708 |
| セグメント利益又は セグメント損失 (△) | 29,357 | 15,742 | 1,181 | 108 | 8,693 | 7,791 | 13,110 |

| | 報 告 セ グ メ ン ト | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|---------------------------|---------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 国際事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客への 売上高 | 37,514 | 1,100,629 | 40,550 | 1,141,180 | — | 1,141,180 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 4,312 | 3,886 | 8,198 | (8,198) | — |
| 計 | 37,514 | 1,104,941 | 44,437 | 1,149,379 | (8,198) | 1,141,180 |
| セグメント利益又は セグメント損失 (△) | 2,452 | 78,436 | △1,042 | 77,394 | (25,910) | 51,483 |

(注) 1. その他は、主にエクステリア事業等です。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額25,910百万円には、セグメント間取引消去2,524百万円、各セグメントに配賦していない全社費用23,386百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費です。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、「その他」に含めていた「国際事業」について、重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

(在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

「会計方針の変更」に記載のとおり、在外子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算していましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しています。

当該変更に伴う前第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注の状況

【連結】

(単位：百万円)

| | 前年同四半期 自：平成23年2月1日 至：平成23年10月31日 | | 当第3四半期 自：平成24年2月1日 至：平成24年10月31日 | | (参考)前連結会計年度 自：平成23年2月1日 至：平成24年1月31日 | |
|----------|--|---------|--|---------|--|---------|
| | 受注高 | 受注残高 | 受注高 | 受注残高 | 受注高 | 受注残高 |
| 戸建住宅事業 | 359,539 | 239,714 | 376,294 | 263,078 | 467,702 | 216,628 |
| 賃貸住宅事業 | 227,744 | 227,313 | 240,419 | 253,307 | 300,354 | 219,101 |
| 分譲住宅事業 | 99,536 | 39,303 | 104,051 | 46,627 | 124,312 | 28,656 |
| マンション事業 | 41,392 | 24,759 | 58,738 | 58,577 | 60,717 | 27,914 |
| 都市再開発事業 | 18,672 | — | 39,159 | — | 24,520 | — |
| リフォーム事業 | 80,748 | 22,199 | 86,838 | 23,647 | 104,086 | 15,927 |
| 不動産フィー事業 | 282,373 | — | 294,624 | — | 378,247 | — |
| 国際事業 | 38,678 | 48,551 | 38,640 | 65,606 | 60,021 | 64,480 |
| その他 | 41,222 | 27,763 | 46,642 | 32,094 | 57,538 | 26,002 |
| 合計 | 1,189,908 | 629,604 | 1,285,408 | 742,939 | 1,577,501 | 598,711 |